

2001.10.12

比較現代日本特論Ⅰ

現代日本における性別分業

東北大学大学院文学研究科 2001 年度

田中 重人 (講師)

【内容】

性別による格差を生み出すプロセス

= gender stratification

ふたつの角度から論じる

- 家事／仕事の性別分業
- 職場内での性別職域分離

【授業の予定】

イントロダクション (10/12)

性別分業 (~11/16)

性別職域分離 (~12/21)

- ★ ヴィデオ鑑賞 (12/7)
- ★ ゲストスピーカーカの講演 (1/11)
- ★ 受講者による報告会 (1/18)

【レポート】

授業でふれた論点に関して、
日本以外の社会との比較

- 共著可
- 論文としての体裁を整える
- 1/18 口頭報告をふまえて改訂

【男女共同参画社会基本法】

1999 年法律 78 号 (6/23 公布・施行)

- ★ 男女の均等な利益享受 (第 3 条)
- ★ 性別役割に基づく制度・慣行の是正
(第 4 条)
- ★ 国・地方公共団体の施策実施義務
(第 8 条, 第 9 条)

【階層論との接点】

性別による格差生成プロセスの複雑さ

→倫理的に「悪」なものと
そうでないものの混合

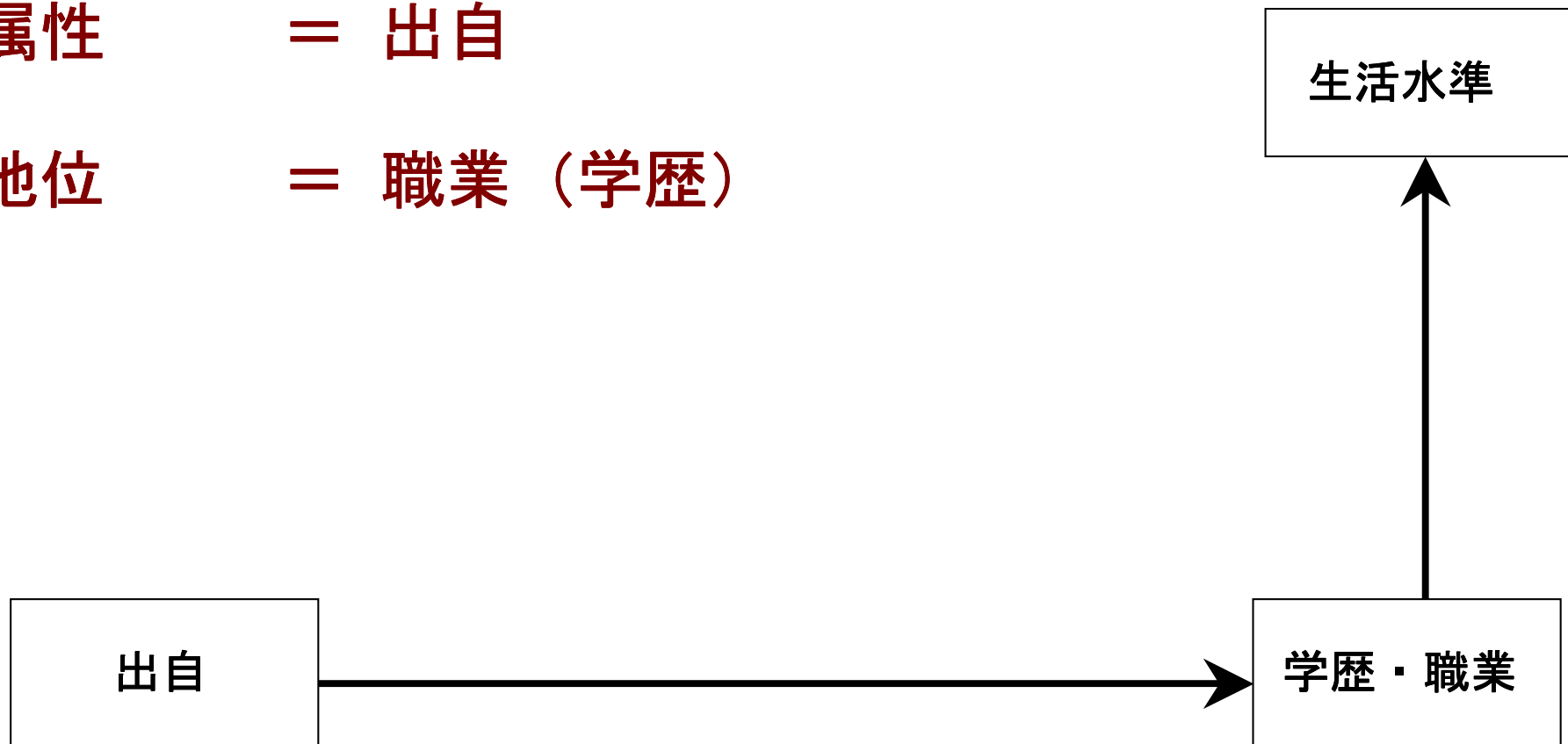
階層 (strata=stratification) 研究と共通の問題

【傳統的階層論の枠組】

希少資源 = 生活水準

属性 = 出自

地位 = 職業（學歷）

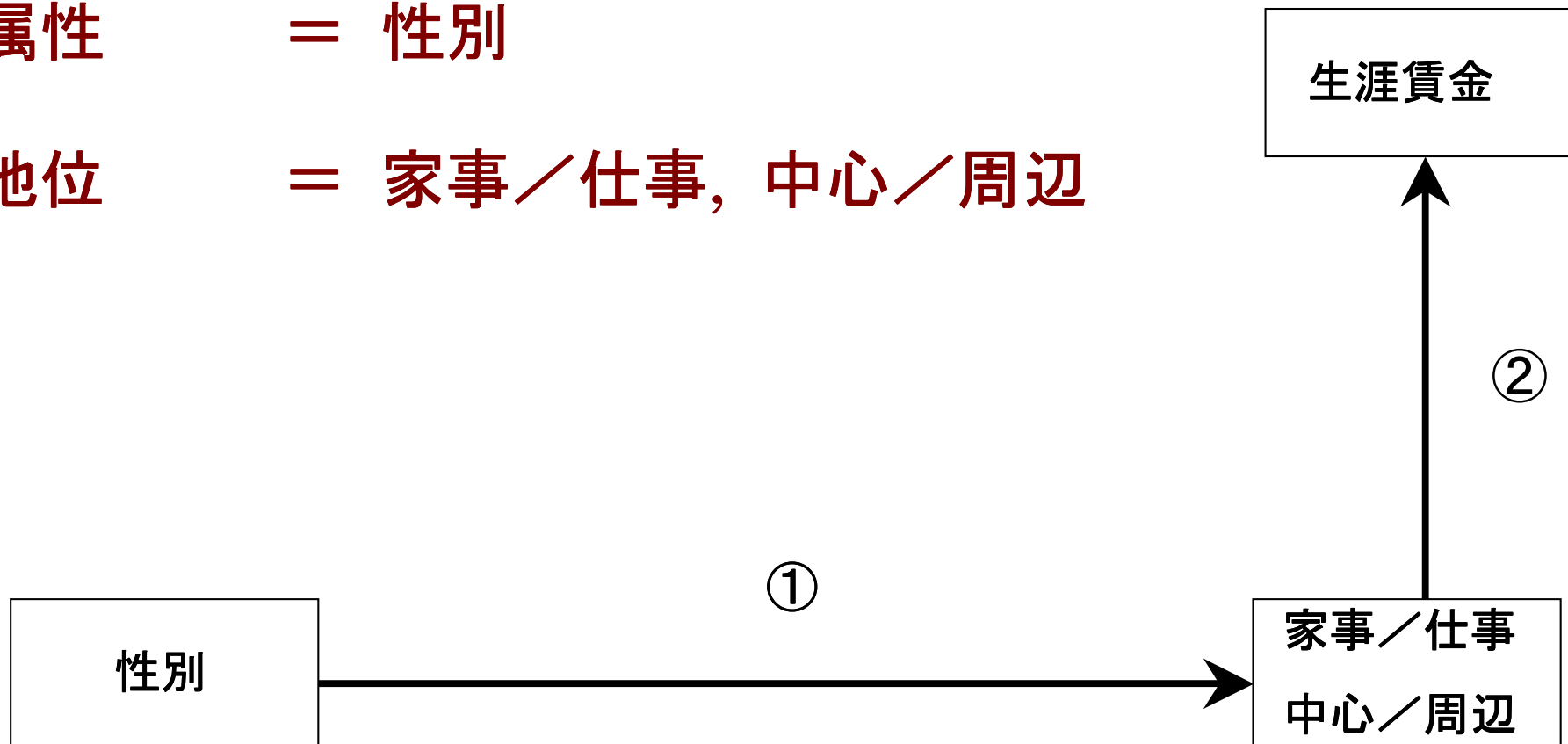


【性別階層論の枠組】

希少資源 = 生涯賃金

属性 = 性別

地位 = 家事／仕事, 中心／周辺



【問題点の整理】

	①	②
性別分業		
性別職域分離		

【参考文献】

- ★池内 靖子 (ほか)、2001 『21 世紀のジェンダー論』。
- ★江原 由美子 (ほか)、1989 『ジェンダーの社会学』 新曜社。
- ★斎藤 美奈子、2000 『モダンガール論』 マガジンハウス。
- ★上野 千鶴子、1985 『資本制と家事労働』 海鳴社。
- ★木本 喜美子 + 深澤 和子 (編)、2001 『現代日本の女性労働とジェンダー』 ミネルヴァ書房。
- ★佐藤 俊樹、2000 『不平等社会日本』 (中公新書)。
- ★田中 重人、1999 『性別分業の分析：その実態と変容の条件』。
- ★金野 美奈子、2000 『OL の創造』 勁草書房。